

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和4年度】

1 基本情報

施設名	春日原保育所
指定管理者	社会福祉法人 春日福祉会
指定期間	元年4月1日から5年3月31日まで(4年間)
担当所管	こども未来課 保育担当

2 施設情報(休館など)

令和5年4月1日から公私連携型保育所へ移行 園舎は令和5年4月1日で法人に減額譲渡
--

3 利用者数

指定期間	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	令和元年度	令和2年度	令和2年度 前年度比	令和3年度	令和3年度 前年度比	令和4年度	令和4年度 前年度比	年度	前年度比	
利用者数	合計	160人	149人	93%	149人	100%	157人	105%		
施設内訳										

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか ・衛生管理は適切か	・保育所日誌作成・報告、 現地確認 ・給食室や保育室等の消毒・ 害虫駆除等の記録 ・午睡用寝具類等の洗浄・ 殺菌等の記録	◎	・園舎内の掃除だけでなく、 園庭の砂場や園庭は年8回業者による除菌、 保育室は10日に1回オゾン消毒、 給食室は毎日オゾン消毒を行うなど、 衛生管理に努めている。
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か	・遊具・厨房・保育室等の安全点検表、 現地確認 ・事故等の記録・報告 ・設備状況の把握	○	・毎日屋内外の安全点検を実施している
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不審者対策は適切か	・入所のしおり及び現地確認 ・園児の安全管理や被害状況の記録・報告 ・フェンス、門扉及び送迎時等のセキュリティ状況確認	○	
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か	・資金収支決算内訳表及び現地確認 ・施設状況の把握 ・改修計画・要望(市と協議)及び実績報告	○	
運営業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・協定書・事業計画等どおり実施しているか ・ホームページや園だより等に掲載しているか	・行事計画、事業計画・実績報告及び現地確認 ・延長保育、障害児保育等の実施記録 ・市と連携した適正な入所手続き状況の把握 ・広報活動や情報提供等の実施状況の把握	◎	・新型コロナウイルス感染症拡大により、 さまざまな園行事の実施が困難となっていたなかで、 感染症拡大防止に努めつつ、行事などの規模を縮小したり、 回数を増やしたりなどの工夫を凝らして可能な限り実施している。 ・日々の保育の様子を写真に撮り掲示し保護者が見られるように工夫を行っている。 ・外国にルーツを持つ子どもの受け入れとして宗教色の対応やタブレットの翻訳アプリを活用し保護者の意思疎通を図るなど多国籍対応を実施している。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取り組みや保育方針の報告	○	・毎年年末に保護者アンケートを実施し、 結果をホームページ等で公表をしている。
	利用状況の把握	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取り組みや保育方針の報告	・保育所運営費請求書、延長保育利用状況報告書及び現地確認 ・通常保育や延長・障害児保育等利用者数の把握、 児童欠席簿の確認	○	
状経況理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・資金収支予算書・決算書及び現地確認 ・帳票の管理、収支状況報告 ・予算と決算の比較 ・利用者当たりの管理コスト(支出/利用者数) ・保育料等の比率(利用料金/収入)	○	・市が定期指導監査を実施し、概ね良好であった。

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置(保育所最低基準)か ・継続的なレベルの維持に努めているか	・運営費請求書・実績報告書(職員名簿)及び現地確認 ・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備	○	・年2回実施している市内公私立保育所合同就職説明会に参加した他、ハローワーク、福岡県保育士協会、養成校などを活用し、全国的な保育士不足のなかで、保育士を確保に尽力している。
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・報告書提示及び現地確認 ・苦情・要望への対応体制(第三者委員会)の有無	○	・苦情解決のための体制は整備されている。
	危機管理体制の確保	・事故・災害発生時の対応はできているか	・防災(消防)計画、避難訓練記録及び現地確認 ・緊急連絡やマニュアル等の作成	○	・事故・災害発生時の対応マニュアルを整備し、毎月避難訓練を実施している。 ・コロナ禍のため避難訓練を全体での集合からクラスごとに集合するなど臨機応変の対応を行っている
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織・体制を整えているか ・保護者や地域と一体となった利用状況か	・事業報告書及び現地確認 ・定期的な情報交換等の開催実績 ・保護者や地域の子育て支援状況や行事の把握	○	・新型コロナウイルス感染症拡大により、例年行っている地域交流行事のほとんどの中止を余儀なくされているが、関係機関とは、コロナ禍においても感染対策を取りながら連携を図っている。
その他	福岡県指導監査状況	・指導監査指摘事項の改善状況等は適切か	・監査資料に基づく各項目の状況及び現地確認	○	・県の定期指導監査においても良好との評価である。
	保健衛生管理体制	・保健衛生管理体制は適切	・事業計画・保健だより及び現地確認 ・乳幼児や保育所職員の健康診断の実施状況 ・感染症や食中毒予防等の助言・指導状況	○	・玩具殺菌保管庫の購入 ・砂場やおもちゃの洗浄、消毒を週1回実施している。

5 加点項目への評価

評価内容	特記事項
協定書等での規定はないが、自主的に取り組まれているもの	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所園庭で夏野菜、冬野菜と四季に応じた菜園活動を行い、子どもたちに野菜を見る、触れる、におう、名前を知るといった学びの場を与え、積極的に食育の取組を行っている。 ・タテ割保育を実施し、年下の子どもは年上の子どもの活動を見て学び、年上の子どもは年下の子どもの世話をし、教えることによって自信を持ち、思いやりの心を育てる場となっている。 ・市の病児保育施設への給食提供を行っている。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。 ・4年度に新たに500冊絵本購入し、月に2回子どもたちが本を持ち帰り保護者と一緒に読む時間を作るなど家庭の育児支援を行っている。

6 総合評価

評価	コメント
A 優れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・園独自の取組としてタテ割保育を実施していること、また積極的な食育の取組は高く評価できる。 ・県と定期合同指導監査を実施し、概ね良好であった。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。